

市場価格

ドル建て

ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1029.20	2024/5/27
High	1067.50	2024/5/29
Low	1021.35	2024/5/31
Close	1038.00	2024/5/31

円建て

円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	5435.00	2024/5/27
High	5384.70	2024/5/27
Low	5155.00	2024/5/31
Close	5254.00	2024/5/31

ドル建て

ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	965.50	2024/5/27
High	1002.00	2024/5/28
Low	903.63	2024/5/31
Close	912.85	2024/5/31

円建て

円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4868.00	2024/5/27
High	5050.00	2024/5/28
Low	4564.00	2024/5/31
Close	4616.00	2024/5/31



ニュースエクスプレス

ジンバブエの新鉱山に遅れ

PGM とクローム生産を手がけるタリサ (Tharisa) は、先週、中間決算発表の中で、ジンバブエの Karo greenfield PGM プロジェクトの生産が軌道に乗る時期に遅れが出ているとした。遅れの原因は政府の資金調達と PGM バスケット価格が下落したことによる財政難。計画では2025年に生産が軌道に乗るとされていたが、それが遅れる可能性がある。予定ではプラチナ生産は年間約2.5 トンで、ジンバブエの2024年と2025年の年間生産高約15.9トンの約 16% に当たる。Karo はジンバブエ最大の未開発 PGM 鉱山プロジェクト。

先週のプラチナの価格調整 は意外性なし

プラチナ価格は先週調整が入ったが、関係者によると予測されていた範囲。というのは、プラチナの相対力指数 (RSI) が過去一年以上の間の最も買われ過ぎのレベルまで上がったからだ。プラチナ価格は 1130ドル/oz をつけた後下落した。今回下落局面が続けば、短期的にはこれまでのレンジ、990ドル~1015ドル/oz が底値抵抗線になるかもしれない。プラチナ先物のファンダマネジャーポジションは先月、ネットショートからネットロングに変わり、61.9トン になっている。プラチナ価格は過去数週間上がったが、リースレートは一桁台前半から変わらず、価格上昇を促す現物は不足していないことを示している。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240527.pdf#msdyntrid=fgB9L6SDeUJ75_ZB7rJ7Dy30_UWfiT-mQzZ809A6yw

プラチナとパラジウム、上昇局面に入るか

貴金属価格は前週の大量の売りの後、5月27日は二日連続で上昇。プラチナの回復が 2.9%と最大で、パラジウムは 約 2% 上がり、共に下がった後の投資家の買い意欲を反映している。

ちょうど1週間前、プラチナは2年ぶりの高値 1095ドルをつけた。その後の7% の下落は、4月終わりの 897 ドルからの上昇に見られた典型的な 61.8% のフィボナッチ・リトレースメントだ。このパターンだと、最後についたピーク (1095ドル) を越えることができれば、1210ドル~1220 ドルが次のターゲットになるだろう。

12月と4月には実質的な上値抵抗線だった 1000 ドル以下に下がらなかったことを考えると、ここが今では底値抵抗線になっている。プラチナ価格は今後数週間以内に一段と上がり、1200ドル~1400ドルレンジに移るかもしれない。

<https://www.fxstreet.com/analysis/platinum-and-palladium-are-ready-to-go-up-202405271216>

Translated by Kazuko OSAWA



WPIC直近の活動

炭素排出軽減のために電動化が進み、エンジン車は減少の一途、それに伴うPGM需要は減るのみと不安視されてきたが、WPICのリサーチによれば、この懸念は誇張されすぎており、エンジン車のPGM需要は減っても今後5年間の減少幅はわずかだという。爆発的に増えたBEVの伸び率は鈍化し、今ではプラチナを触媒装置に使うハイブリッド車とレンジエクステンダー式電気自動車の方が大きく伸びている。自動車のPGM需要が、今後も長期にわたって減らないと予測できる。詳細は [プラチナ豆知識 - プラチナ需要今後も成長をご覧ください](#)。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>

様々な分野があるプラチナの需要の中で、工業分野の利用は需要の32% を占めている。医療のプラチナ需要は便宜上、工業用需要に分類されている。医療やバイオメディカル分野のプラチナ利用は量としては比較的少ないが、近年成長目覚ましい重要な分野で、2023年は工業のプラチナ需要の中の11% となった。今回はプラチナが医療分野での活躍および今後医療需要の展望に注目してみたい。詳細は添付の [JPX Article 8 - 医療のプラチナ需要](#) をご覧ください。



@wpicjapan

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。